

# 男性のみなさんへ、 風しん抗体検査・予防接種を受けましょう。



問 健康づくり課 ☎ (24)8070

**風**しんは、感染者の咳やくしゃみ、会話で飛ぶしぶきでもうつる感染力が強い感染症です。風しんの予防接種を公的に受ける機会がなかった男性に抗体検査・予防接種を無料で受けられるクーポン券を送ります。令和2年度の対象者には4月末に郵送しました。

▶ **クーポン券の期限** 令和3年 **3月31日**(水)

▶ **令和2年度の対象** 昭和 **37年4月2日**～

昭和 **47年4月1日** に生まれた **男性**

- › 抗体検査・予防接種はこの事業に参加している全国の医療機関で受けられます。
- › 抗体検査は職場の健康診断や特定健診で受けられる場合があります。
- › 市の特定健康診査では風しんの抗体検査が同日に受けられます。
- › この事業の対象は昭和37年4月2日～昭和54年4月1日に生まれた男性です。昭和47年4月2日～昭和54年4月1日に生まれた男性には、昨年5月末にクーポン券を郵送しました。

## 【検査から予防接種までの流れ】



▶▶▶ 「抗体あり」なら予防接種は不要です。



**Q** 風しんに感染すると何が問題なの？

- A**
- › 電車や職場、ショッピングセンターなど人が集まる場所で、多くの人に感染させる可能性があります。
  - › 妊娠早期の妊婦が風しんに感染すると、赤ちゃんが目や耳、心臓に障害を持って生まれてくる可能性が高くなります。

## 市長コラム 65

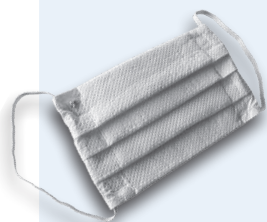
### 【手作りマスク】

銚子市長 越川 信一

キッチンペーパーをじゃばらに折り、ノーズワイヤーを入れたマスクは、立体的でかけ心地もソフト。カラフルなシールでオシャレにアレンジ。1枚1枚、丁寧にビニール袋に詰められているので、市役所の申請窓口を訪れる市民用として活用している。

「2月中旬ごろ、病院の待合室で待っている高齢の方がマスクを着用しておらず、『マスクがどこにも売っておらず手に入らない。困っている』という話をしていた。自分たちも震災の時に、多くの方々に助けてもらったことを思い出し、少しでも役に立てるものがあるなら考えた末、手づくりのマスクの作り方を調べ、家族全員で製作にあたりました」とのこと。家族みんなで製作する情景が目に浮かんだ。

長期戦も予想されるコロナとの戦い。市民一人ひとりの知恵と工夫、行動が最大の力になる。



▲キッチンペーパーで作った手作りマスク

新型コロナウイルス対策の特別措置法に基づく緊急事態宣言が発令され、銚子市でも6人(4月16日現在)の感染者が確認されるなど、感染拡大が危惧される状況にある。市民の皆様には、うがい・手洗い・咳エチケットの徹底、不要不急の外出や3つの密(密閉・密集・密接)を避ける取り組みを改めてお願いしたい。

マスクの品切れが続く中、市内では高齢者・障害者・子どもたちなどのために、マスクを自作する動きが広がっている。入所者と一緒にはマスクを作る高齢者福祉施設、手作りマスクの製作協力を呼びかけるグループやボランティア団体も。

家族全員で作ったマスク600枚の匿名寄付もあった。